

令和2年度第2回三重県行財政改革・デジタル戦略推進本部本部員会議概要

- 1 開催日時：令和2年9月23日（水）9:30～9:45
- 2 開催場所：プレゼンテーションルーム
- 3 議事概要：以下のとおり（●議題提出部局説明 ☆意見・質問）

議題1 令和2年度「第三次三重県行財政改革取組」上半期進捗状況について

●佐藤行財政改革推進課長（資料1・資料1別表・資料1別表1に基づき説明）

・新型コロナウイルス感染症対策をふまえた在宅勤務について、6月から出勤時とほぼ同様の作業を行うことができるシステムを導入等するとともに、8月には「県庁テレワーク・デイズ2020」として、テレワークの周知、課題等の検証のため強化月間として取り組んだ。

・コンプライアンス意識の向上について、取組内容の検討、徹底を図るため、コンプライアンス推進会議を開催するとともに、コミュニケーションの活性化と担当者の孤立感の解消のため、個別面談方式のコンプライアンス・ミーティングを実施した。また、コンプライアンスの推進については、教育委員会、警察本部とともに、連携して取り組んでいる。

・持続可能な行財政運営の確保では、経常的な支出を抑制しつつ、多様な歳入確保策の推進に努め、歳入歳出両面から取組を進めている。

議題2 令和2年度スマート改革主な取組上半期進捗状況について

●横山スマート改革推進課長（資料2・資料2別表に基づき説明）

・Smart Government（スマートガバメント）の取組については、Web会議の活用が全庁的に一気に進んだことにより、移動時間・旅費の大幅な削減とともに、必要な会議をタイムリーに開催することができた。

・デジタルツールを活用すれば生産性を上げることができるという意識付けができ、非常に有益であったことから、必要な環境整備をさらに進めていく。

・AI・RPAについては、本年度は対象業務を30業務に拡大していくとともに、必要な人材育成について進めていく。

・ペーパーレス化、オフィス改革等については、大型モニタやサブモニタの配布等を通じて、紙資料の削減を図るとともに、スマート改革推進課を中心にオフィス改革も進めており、そういった成果も踏まえて今後もさらに検討を進めていく。

・Smart Workstyle（スマートワークスタイル）の取組については、6月に在宅勤務システムの運用を開始し、8月には「県庁テレワーク・デイズ2020」として集中実施日の8月19日には約300人が参加した。今後、取組の実態調査を実施し、在宅勤務に適した業務の整理を行っていく。

・Smart Solutions（スマートソリューションズ）の取組については、各政策分野への最新技術の活用を後押ししている。特に、農林水産・観光・教育分野については、民間の兼業・副業人材を活用した支援を進めている。

・県職員の人材育成として、スマート人材の育成を進めており、20代半ばから30代半ばの非常に優秀な20人を決定した。既に研修を開始しており、世の中にはどのような最新技術があるか、それらを具体的な政策課題にどのように結びつけるかを考えられる人材を育成したいと考えており、座学だけでなくフィールドワークなどにより実践的な研修を進めていく。

☆鈴木知事

・コンプライアンスについては、直近も教育委員会で非違行為があった。改めて、公私ともに、県民の皆さんからの「信なくば立たず」ということを肝に銘じて職務を行ってほしい。

・スマート改革については、新政権になってデジタルの分野が非常に注目をあびることとなる。特に Smart Government（スマートガバメント）の取組について、三重県が遅れをとらないのは当たり前で、全国に先駆けて積極的な取組を進めてほしい。

・Smart Solutions（スマートソリューションズ）の取組については、スマート改革推進課が全部局の司令塔となれるように、コミュニケーションをしっかりとって、政策のブラッシュアップを図ってほしい。

・市町との1対1対談などにおいて、市町のスマート改革を応援してほしいといった話を必ずいただく。全庁をあげて、市町のスマート改革とデジタル化が進むように連携をとってほしい。